

各部より

研修部

テーマ別研修会の報告

府下の障害教育に関わる先生方から、日頃の指導に関わる疑問や悩みを相談できる機会が欲しいとのご要望に応え、本年も課題別（テーマ別）研修会が、平成15年12月25日（木）八尾市文化会館（プリズムホール）で行われました。百数十人の参加があり、たいへん好評でした。以下に参加者のアンケートと研修会の写真を紹介します。

<p>ADHDといわれる子どもたちの理解と対応</p> <p>医学的な視点での分析を聞かせていただいて、とてもよくなりました。新たなものが見えてきたようで、ほんとうにためになりました。私は個人的に薬に依存したくないという気持ちがありました。本人の益になる使い方なら納得できました。医療機関にかかるのを嫌がる親はそれでもいい、と私自身考えていましたが、これが子どもの不利益に現になっていると知り、これは良くないと考え直しました。どうもありがとうございました。</p>	<p>安原昭博先生</p> 
<p>LDと言われる子どもたちの理解と対応</p> <p>今日はありがとうございました。分かる - 認知するところで体験学習があり、事例をあげてお話いただいたのでとても分かり易かったです。体験のところでカタカナの字がなかなか見つからなかったとき、子どもの気持ちを体験しました。</p>	<p>米田和子先生</p> 
<p>行動障害（問題行動）を示す子どもたちの理解と対応</p> <p>大変分かりやすく参考になりました。すぐに役立つ方法をたくさん教えていただきました。自分の実践を細かく具体的に分析してみることが大事なんですね。プランニングの壁と実践の壁、考えつつやっていたいと思いました。通常の学級の担任の先生のご苦労もよく伝わりました。先生が楽しそうにプランニングされているのがこちらにも伝わって楽しい気分になりました。</p>	<p>井上雅彦先生</p> 

<p>自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応</p> <p>研究会や本によってかなり学習してきましたが実践を聞くことによって毎日の生活の中で対応のまずさを痛感します。わかっているつもりでも発してはいけない言葉を投げつけています。今日のお話を聞かせていただいて再度ひとつひとつの行動をきちんと把握し、具体的視覚的に指示することの大切さを心にきざみました。</p>	<p>金井孝明先生</p> 
<p>肢体不自由の子どもたちの理解と対応</p> <p>専門的な立場からのアドバイスはすごく参考になった。特に「何をしたいのかはっきりさせる」ことの大切さを私たちはクールに見て指示できる教師にならなくてはならないことを改めて感じさせられた。</p>	<p>淡路一裕先生</p> 
<p>性に関する課題のある子どもたちの理解と対応</p> <p>経験豊富なお話を聞いて本当に参考になりました。小さい頃からの生活習慣がとても大切なのだと思ひきまりました。大人になっての社会生活をする基本が性教育だということも分かりました。本当にありがとうございました。</p>	<p>中村昭代先生 大橋一予先生</p> 

昨年は府養研50周年記念大会の中で、今日的な課題についての分科会を設定しましたが、今年度は新しいテーマも加えて、一昨年度に引き続き『テーマ別研修会』を計画致しましたが、どうだったでしょうか？ 助言の先生方のお話をお聞きしながら日頃悩んだり困ったりしていることを出し合えたと思います。

養護学級担任の先生方だけでなく通常の学級の先生、その他の関係者の方もご参加いただけていました。